



日・EU ビジネス・ラウンドテーブル

プレスリリース

2012年4月4日（水） 東京

“Unlocking Growth Potential in EU-Japan Business”

—日本と EU の連携強化と成長の実現に向けて—

2012年4月3日から4日の二日間に渡り、東京において、米倉弘昌氏（住友化学株式会社社長）とジャン・イヴ・ルガル氏（アリアンスペース会長兼 CEO）が共同議長を務める「日・EU ビジネス・ラウンドテーブル（BRT）」年次会合が開催され、日欧のビジネス界のリーダー約 50 名が一堂に会した。会合には、枝野幸男経済産業大臣、牧野聖修経済産業副大臣、山根隆治外務副大臣、山川鉄郎総務審議官、ならびにアンティ・ペルトマーキ欧州委員会 企業・産業総局副総局長も出席した。本会合で採択された提言書は、今月中にも野田佳彦首相、ヘルマン・ファン＝ロンパイ欧州理事会議長、ジョセ・マヌエル・バローゾ欧州委員会委員長へ提出する予定となっている。

日本と EU の連携強化と成長の実現に向けて

今年の年次会合では、日本と EU が相互に対等な市場開放をさらに推し進めていくために必要な条件および市場開放の方法と手段、先進国の成長と産業空洞化・産業復興、日 EU のエネルギー分野における協力、そして日本企業と欧州企業の幅広い協力を主要テーマに議論を行なった。さらに、個別に BRT メンバーの関心の高い分野について非公式の議論を行った。

BRT のメンバー一同は、世界の先進経済圏であり、主要な貿易・投資国である EU および日本が経済協力をより一層深めていくことによって、日・EU 経済関係が潜在的に有する大きな成長力を引き出していくことができるものと確信している。

BRT は、欧州委員会および日本政府に対し、スコーピング作業を野心的な内容で完了させるために必要な残りの取組みを早急に進めるよう要請する。さらに、BRT は、欧州委員会および欧州理事会に対し、2011年5月の日・EU 定期首脳協議で示され、かつ、BRT が2011年9月の「日・EU FTA/EPA 締結に向けた緊急提言」の中で支持を表明した、高いレベルの野心を念頭におき、スコーピング作業における成果にもとづいて、日本との FTA/EPA および政治・協力に関する協定についての交渉権限を欧州委員会が取得するために必要な作業を早急に進めるよう求める。また、日・EU 経済関係の潜在的な成長力をさらに高め、顕在化させるために、野心的でバランスの取れた、互恵的かつ包括的な日・EU FTA/EPA を実現し、関税、非関税障壁、政府調達、投資、規制・基準の調和や相互承認等に関する主要な未解決の課題を解決するよう求める。

BRT は、世界の二大先進経済圏である日本と EU が、より開かれた自由な貿易・投資を促進し、規制・基準の調和を加速し、貿易における中小企業の潜在的な成長力を顕在化するために中小企業を支援する一方、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、ヘルスケア、情報通信技術 (ICT)、航空宇宙産業、エネルギー、環境などの幅広い成長分野において協力関係を強化していくことによって、共に健全な、より力強い成長を実現し、世界経済の持続可能な発展に貢献できることを強く確信している。

BRT は、多国間貿易の制度を支持しており、WTO に対して、ドーハ開発アジェンダ交渉における膠着状態を打開し、多国間貿易のルール・基準を策定するための世界で唯一の国際機関として、強いリーダーシップを発揮し、自由貿易を推進するよう求める。

お問い合わせ

日欧産業協力センター（日・EU ビジネス・ラウンドテーブル事務局）東京事務所
Tel: +81 3 6408 0281

小見山揚子
樋口愛子

Email: yoko.komiyama@eu-japan.gr.jp
Email: aiko.higuchi@eu-japan.gr.jp

日・EU ビジネス・ラウンドテーブルについて

日・EU ビジネス・ラウンドテーブル (EU-Japan Business Round Table) は1999年に発足、約50名の日本およびEU企業のCEO/経営幹部で構成されている。日・EU間のビジネス協力のあらゆる局面に影響を及ぼす要因について見直し、日本政府および欧州委員会に対する政策提言を行うことを目的に年1回一堂に会している。

ホームページ www.eu-japan-brt.eu